

『現代の中東』総目次 第1号～第30号 (1986年9月～2001年1月)

	タ イ ト ル	筆 者	号 数	掲載年月
中東全域	80年代の中東システム	宮治 一雄	第1号	1986年9月
	東アラブ現代史の一視角：イデオロギー潮流の基礎構造	木村 喜博	第1号	1986年9月
	ガラール・アミン教授のこと【巻頭言】	堀 侑	第2号	1987年3月
	中東の石油化学工業化：産油国の論理と問題点	浜渦 哲雄	第2号	1987年3月
	1986年度国際ワークショップ報告【研究情報】	鈴木 均	第2号	1987年3月
	中東研究の戦略【巻頭言】	宮治 一雄	第3号	1987年9月
	接触と理解【巻頭言】	宮治 一雄	第4号	1988年3月
	イスラムの「聖」と「俗」【巻頭言】	中岡 三益	第5号	1988年9月
	80年代の中東システム(Ⅱ)：マグレブと五つの地域システム	宮治 一雄	第5号	1988年9月
	中東イスラム世界の社会学：ねらいと構想	加納 弘勝	第5号	1988年9月
	ベルリン自由大学セミナー「中東の労働移動と社会・政治変化」	長場 紘	第5号	1988年9月
	ワークショップ「中東における和平と民主化の可能性」	宮治一雄, 間 寧, 池田明史, 清水学	第6号	1989年3月
	政治参加と中東安定化の展望：カイロ集会報告	宮治 一雄	第6号	1989年3月
	湾岸の金融機関の最近の動向	清水 学	第7号	1989年9月
	80年代の中東システム (Ⅲ)：カサブランカ・アラブ首脳会議	宮治一雄, 間 寧, 池田明史, 清水学	第7号	1989年9月
	石油産業国有化と国際石油市場の変貌	浜渦 哲雄	第8号	1990年3月
	「インティファーダ」をめぐる出版物【書評】	中島 勇	第9号	1990年9月
	湾岸危機後のイスラム原理主義運動：クトップ・モデルからの考察	末松 義規	第11号	1991年9月
	中東地域概念の拡大【巻頭言】	清水 学	第12号	1992年3月
	中東紛争史におけるマドリード会議の位相：特集にあたってーイスラエル和平派の視点からー【特集：中東和平プロセス】	池田 明史	第12号	1992年3月
	ソ連解体と中東世界【中東レビュー】	清水 学	第12号	1992年3月
	1991年のOPEC：湾岸戦争後の石油市場【中東レビュー】	岩崎 徹也	第12号	1992年3月
	「アジアの中東研究」再論【巻頭言】	宮治 一雄	第14号	1993年3月
	中東地域政治の構造と動態【特集：中東の構造変化と発展の展望】	伊能 武次	第14号	1993年3月
	1990年代における中東社会構造と青年層【特集：中東の構造変化と発展の展望】	加納 弘勝	第14号	1993年3月
	湾岸戦争と石油市場：先物市場を中心にして	浜渦 哲雄	第15号	1993年9月
	<i>Arab Studies Quarterly</i> 収録論文・記事索引：1979～1993【資料情報】	泉沢久美子	第15号	1993年9月

	OPEC 型開発戦略の挫折：背景とインプリケーション 【中東レビュー】	岩崎 徹也	第15号	1993年 9月
	民主化をめぐる比較研究と地域研究【巻頭言】	加納 弘勝	第16号	1994年 3月
	「マドリード体制」の成立とその課題：暫定自治から軍備 管理へ【中東レビュー】	池田 明史	第16号	1994年 3月
	中東ワークショップ報告	伊能 武次	第16号	1994年 3月
	中東の国際政治研究に望む【巻頭言】	中岡 三益	第17号	1994年 9月
	中東研究の現状と課題【巻頭言】	木村 喜博	第18号	1995年 3月
	地域研究の活性化【巻頭言】	松原 正毅	第19号	1995年 9月
	ロシア外交と中央アジア・中東：第5回中・東欧研究世 界会議に参加して	清水 学	第19号	1995年 9月
	中東研究者の分布【巻頭言】	長沢 栄治	第20号	1996年 3月
	中東とアジアにおける協調的安全保障の試み：ACRS と ARF を比較して	立山 良司	第20号	1996年 3月
	低石油価格に対する国際石油会社と湾岸産油国の対応 湾岸諸国：石油と外国人労働者に依存する経済 冷たい平和【巻頭言】	浜渦 哲雄	第20号	1996年 3月
	湾岸アラビア諸国における人口構造と其の変化	長場 紘	第20号	1996年 3月
	湾岸研究とインターネット	片倉 邦雄	第21号	1996年 9月
	中東に生きる私【巻頭言】	福田 安志	第21号	1996年 9月
	増大する湾岸・アジアの石油取引	保坂 修司	第22号	1997年 3月
	中東体験と中東研究【巻頭言】	牟田口義郎	第23号	1997年 9月
	閉塞状況のなかの中東研究【巻頭言】	中村 玲子	第23号	1997年 9月
	原油価格安値の背景と産油国の対策【現地報告】	原 隆一	第24号	1998年 3月
	新たな国際関係のパラダイムを求めて：グローバル化時 代の中東、アフリカ、ラテン・アメリカ【三地域等総 合研究事業ワークショップ】	加藤 博	第25号	1998年 9月
	武力介入の三つの条件【巻頭言】	福田 安志	第25号	1998年 9月
	イスラーム経済体制論の基本性格ーバーキルッ=サド ルと A・スミスにおける経済システム概念の比較ー イスラム諸国の民主化についての一視点	青山 弘之	第26号	1999年 3月
	〈知〉のブレイクスルーと地域研究【巻頭言】	宮治 一雄	第27号	1999年 9月
EU	EU とマグレブ3国	水島多喜男	第27号	1999年 9月
アゼルバイジャン	アゼルバイジャン：岐路に立つ政治経済【現地報告】	間 寧	第28号	2000年 3月
アフガニスタン	アフガニスタン：革命・ソ連・戦争	小杉 泰	第30号	2001年 1月
アメリカ	アメリカの大学における中東研究と教育活動：カリフォ ルニア大学バークレー校の場合【研究情報】	宮治 一雄	第22号	1997年 3月
	アメリカの中央アジア研究【研究情報】	廣瀬 陽子	第29号	2000年 7月
アラブ首長国連邦	私の訪ねたアラブの書店：バハレーン、アブダビ、カイ ロ、ハルツーム書店案内【資料情報】	高橋 博史	第5号	1988年 9月
		桜井 啓子	第6号	1989年 3月
		岡 奈津子	第25号	1998年 9月
		泉沢久美子	第6号	1989年 3月

	「アラブ海賊」の神話をめぐって	浜渦 哲雄	第13号	1992年9月
	連邦と独立：湾岸の9首長国の選択が現在の外交政策に及ぼした影響【中東レビュー】	大野 元裕	第17号	1994年9月
アルジェリア	アルジェリアの地方選挙：累積債務とイスラム運動【現地報告】	宮治 一雄	第9号	1990年9月
	湾岸危機下のアルジェ【巻頭言】	宮治 一雄	第11号	1991年9月
イエメン	第1回統一イエメン国会選挙	佐藤 寛	第15号	1993年9月
	私の訪ねたアラブの書店：バハレーン、アブダビ、カイロ、ハルツーム書店案内【資料情報】	泉沢久美子	第17号	1994年9月
	進展するイエメンの「改革プログラム」：その目的と背景	佐藤 寛	第20号	1996年3月
	世界遺産に住まう人々：イエメン・サナア旧市街―最古の摩天楼は「生きている博物館」たりうるか―	田尻敦子, 小島隆矢, 木下 徹	第23号	1997年9月
	サウジ・イエメン関係の史的傾向	松本 弘	第25号	1998年9月
	イエメンの民主化	松本 弘	第27号	1999年9月
	開発援助をめぐる「ドナーの戦略」と「村人の戦略」	佐藤 寛	第27号	1999年9月
	イエメンにおける社会開発基金―経済構造改革の過程における社会保障プログラムの一例―【現地報告】	渡辺 正晃	第27号	1999年9月
イギリス	サレー大学エネルギー経済センター【研究機関】	浜渦 哲雄	第1号	1986年9月
	ダラム大学の中東研究【研究情報】	間 寧	第5号	1988年9月
	イギリスから見たイラクのクウェート併合問題	浜渦 哲雄	第9号	1990年9月
	イギリスで体験した湾岸戦争：マスコミ・議会・世論【特集湾岸戦争】	浜渦 哲雄	第10号	1991年3月
	イギリスの中東研究【巻頭言】	伊能 武次	第15号	1993年9月
イスラエル	アシケナジ vs スファラディ【ハムシーン】	池田 明史	第1号	1986年9月
	イスラエルの和平勢力：シャローム・アクシャヴをめぐるって	池田 明史	第2号	1987年3月
	湾岸危機と認識ギャップ：イスラエルにおける論争から【87年度国際ワークショップ 第三部 地域的安定性の諸前提：イラン・イラクとトルコ】	池田 明史	第4号	1988年3月
	イラン・イラク停戦と湾岸情勢の新展開	浜渦哲雄, 清水学, 池田明史	第5号	1988年9月
	イスラエルの選択【巻頭言】	清水 学	第7号	1989年9月
	五十年前のエルサレム【巻頭言】	甲斐 静馬	第9号	1990年9月
	ユダヤ人の軍隊(1)：イスラエル国防軍草創前史―「ハシヨメール」を巡って―【中東レビュー】	池田 明史	第11号	1991年9月
	中東紛争史におけるマドリード会議の位相：特集にあたって―イスラエル和平派の視点から―【特集：中東和平プロセス】	池田 明史	第12号	1992年3月
	イスラエル／シリア関係と中東和平プロセス【特集：中東和平プロセス】	モシェ・マオズ	第12号	1992年3月

	イスラエル／パレスチナ人交渉と中東和平プロセス【特集：中東和平プロセス】	エディ・カウフマン	第12号	1992年3月
	ユダヤ系市民「出ソビエト」の史的展開と今日的意義に関する考察【特集：中東和平プロセス】	高坂 誠	第12号	1992年3月
	「二つの戦後」とイスラエル	木村 修三	第16号	1994年3月
	現代パレスチナにおけるイスラーム運動【特集：中東和平をめぐる諸勢力】	小杉 泰	第17号	1994年9月
	イスラエル社会における右翼勢力：バト・ヤム市民にみるリクード惨敗の実態【特集：中東和平をめぐる諸勢力】	白杵 陽	第17号	1994年9月
	1992年イスラエル総選挙：サイは投げられていたのか【中東レビュー】	立山 良司	第17号	1994年9月
	イスラエル経済：世界経済の中の地歩を求めて	A・V・フェルドチェンコ	第21号	1996年9月
	「イスラエル・ハイテク産業」の発展の背景	畑中 美樹	第23号	1997年9月
	中東和平プロセスの現在－二国間交渉の課題と多国間協議の評価－	池田 明史	第27号	1999年9月
イラク	国際ワークショップ特集にあたって	宮治 一雄	第4号	1988年3月
	イラン・イラク戦争と湾岸危機：四つのシナリオ【87年度国際ワークショップ 第I部 イラン・イラク戦争と湾岸危機】	K・マクラクラン	第4号	1988年3月
	イラン・イラク戦争の政治経済学【87年度国際ワークショップ 第I部 イラン・イラク戦争と湾岸危機】	K・モフィード	第4号	1988年3月
	イラン・イラク戦争と日本への影響【87年度国際ワークショップ 第I部 イラン・イラク戦争と湾岸危機】	浜渦 哲雄	第4号	1988年3月
	革命・クーデタ・戦争と地域関係：イラン・トルコ・イラク【87年度国際ワークショップ 第III部 地域的安定性の諸前提：イラン・イラクとトルコ】	加納 弘勝	第4号	1988年3月
	湾岸危機と認識ギャップ：イスラエルにおける論争から【87年度国際ワークショップ 第III部 地域的安定性の諸前提：イラン・イラクとトルコ】	池田 明史	第4号	1988年3月
	イラン・イラク停戦と湾岸情勢の新展開	浜渦哲雄、清水学、池田明史	第5号	1988年9月
	破壊と復興：停戦後の湾岸	カムラン・モフィード	第7号	1989年9月
	イラクの食生活【各国事情】	酒井 啓子	第7号	1989年9月
	サアド・ナジ・ジャワド博士【マルハバ】	酒井 啓子	第7号	1989年9月
	イラクにおける復興シンポジウムに参加して	清水 学	第8号	1990年3月
	停戦後のイラク	サアド・ナジ・ジャワド	第8号	1990年3月
	湾岸危機について	清水 学	第9号	1990年9月
	イギリスから見たイラクのクウェイト併合問題	浜渦 哲雄	第9号	1990年9月
	湾岸戦争のもつ意味【巻頭言】	木村 喜博	第10号	1991年3月
	湾岸戦争が提起したもの【特集：湾岸戦争】	清水 学	第10号	1991年3月

湾岸戦争とアラブ知識人の反応【特集：湾岸戦争】	酒井 啓子	第10号	1991年3月
イギリスで体験した湾岸戦争：マスコミ・議会・世論 【特集：湾岸戦争】	浜渦 哲雄	第10号	1991年3月
イラク：湾岸戦後の問題と展望－最近のイラク研究者の 著作を概観して－【中東レビュー】	酒井 啓子	第12号	1992年3月
イラクにおける宗派と学歴－国家成立以前のイラク知識 人の政治的方向性－【中東レビュー】	酒井 啓子	第13号	1992年9月
湾岸深奥小史：ウトゥーブ、カアブ、ムンタフィクの盛 衰【中東レビュー】	酒井 啓子	第16号	1994年3月
バグダードのマイサン県人：イラク南部出身者の政治的 方向性【中東レビュー】	酒井 啓子	第18号	1995年3月
「イラク解放法」と反体制派－米国の対イラク政策の変 化とそれへの対応－	酒井 啓子	第26号	1999年3月
イラク：バアス党支配構造の復活か	酒井 啓子	第30号	2001年1月
湾岸戦争が提起したもの【特集：湾岸戦争】	清水 学	第10号	1991年3月
湾岸戦争とアラブ知識人の反応【特集：湾岸戦争】	酒井 啓子	第10号	1991年3月
イギリスで体験した湾岸戦争：マスコミ・議会・世論 【特集：湾岸戦争】	浜渦 哲雄	第10号	1991年3月
イラク：湾岸戦後の問題と展望－最近のイラク研究者の 著作を概観して－【中東レビュー】	酒井 啓子	第12号	1992年3月
イラクにおける宗派と学歴：国家成立以前のイラク知識 人【中東レビュー】	酒井 啓子	第13号	1992年9月
湾岸深奥小史：クトゥーブ、カアブ、ムンタフィクの盛 衰【中東レビュー】	酒井 啓子	第16号	1994年3月
バグダードのマイサン県人：イラク南部出身者の政治的 方向性【中東レビュー】	酒井 啓子	第18号	1995年3月
「イラク解放法」と反体制派－米国の対イラク政策の変 化とそれへの対応－	酒井 啓子	第26号	1999年3月
イラク：バアス党支配構造の復活か	酒井 啓子	第30号	2001年1月
イラク・イスラーム運動研究史－最近のアラビア語研究 書概観－【文献解題】	酒井 啓子	第30号	2001年1月
イラン			
イラン・イスラーム政権下の女性たち	原 浩子	第3号	1987年9月
国際ワークショップ特集にあたって	宮治 一雄	第4号	1988年3月
イラン・イラク戦争と湾岸危機：四つのシナリオ【87年度国 際ワークショップ 第I部 イラン・イラク戦争と湾岸 危機】	K・マクラクラン	第4号	1988年3月
イラン・イラク戦争の政治経済学【87年度国際ワークシ ョップ 第I部 イラン・イラク戦争と湾岸危機】	K・モフィード	第4号	1988年3月
イラン・イラク戦争と日本への影響【87年度国際ワーク ショップ 第I部 イラン・イラク戦争と湾岸危機】	浜渦 哲雄	第4号	1988年3月

革命・クーデタ・戦争と地域関係：イラン・トルコ・イラク【87年度国際ワークショップ 第三部 地域的安定性の諸前提：イラン・イラクとトルコ】	加納 弘勝	第4号	1988年3月
湾岸危機と認識ギャップ：イスラエルにおける論争から【87年度国際ワークショップ 第三部 地域的安定性の諸前提：イラン・イラクとトルコ】	池田 明史	第4号	1988年3月
イラン現代史資料【研究情報】	岡崎 正孝	第4号	1988年3月
イラン・イラク停戦と湾岸情勢の新展開	浜渦哲雄、清水 学、池田明史	第5号	1988年9月
破壊と復興：停戦後の湾岸	カムラン・モフィード	第7号	1989年9月
イラン新体制：「国防兵站省」設置をめぐる	池田 明史	第7号	1989年9月
イランの石油国有化と国際化(1951～72年)：コンソーシアムの役割【90年度国際ワークショップ】	R・W・フェリエ	第10号	1991年3月
日本市場におけるイラン石油の興亡【90年度国際ワークショップ】	浜渦 哲雄	第10号	1991年3月
国際ワークショップに参加して【90年度国際ワークショップ】	岩崎 葉子	第10号	1991年3月
ポスト冷戦の世界とイラン	鈴木 均	第12号	1992年3月
革命後イランの曲折と対周辺政策【特集：中東の構造変化と発展の展望】	宮田 律	第14号	1993年3月
現代イラン研究の視座：Karshenasの近著からの考察【中東レビュー】	岩崎 葉子	第14号	1993年3月
第6回イラン大統領選挙	田中浩一郎	第15号	1993年9月
イラン繊維産業概観：19世紀初頭からイスラム革命までの歴史的発展【中東レビュー】	岩崎 葉子	第15号	1993年9月
イランにおける対外観の変容：大悪魔のつくりかた【中東レビュー】	山岸 智子	第18号	1995年3月
イラン映画と地域研究	鈴木 均	第20号	1996年3月
中西久枝『イスラムとヴェール：現代イランに生きる女性たち』【書評】	岩崎 葉子	第21号	1996年9月
〈'96・イラン映画祭〉をめぐる：イラン映画再論	鈴木 均	第22号	1997年3月
ハータミ大統領の選出とイランの変革	田中浩一郎	第24号	1998年3月
イラン経済の現局面：「新時代」を探る	岩崎 葉子	第24号	1998年3月
ハータミー政権の登場とイラン社会の変容	鈴木 均	第25号	1998年9月
現代イランの政治と女性－ポストホメイニ期の女性の政治的・社会的地位と女性問題の変遷－	中西 久枝	第26号	1999年3月
イランの地方財政－全国地方議会選挙に関連して－	鈴木 均	第27号	1999年9月
イラン「開発」史－石油国有化とパフラヴィー朝の開発戦略－	岩崎 葉子	第28号	2000年3月
現代イランの政治思想の側面－西政的諸価値とイスラーム－	富田 健次	第28号	2000年3月
イランにおける大学入試制度改革と学生層の変化	桜井 啓子	第30号	2001年1月

現代イラン流通考：市場と商人	岩崎 葉子	第30号	2001年1月
エジプト	伊能 武次	第1号	1986年9月
エジプトの政治・社会不安	長田 満江	第1号	1986年9月
エジプトの経済改革	長沢 栄治	第2号	1987年3月
エジプトにおける家族関係の近代化	清水 学	第2号	1987年3月
国立社会・犯罪学研究センター【研究機関】	鈴木 弘明	第2号	1987年3月
『ミスル銀行60年史』について【書評】	清水 学	第3号	1987年9月
エジプト・ムバーラク体制の政治経済学	ガラール・アミン	第3号	1987年9月
エジプトの経済・社会危機と社会移動	清水 学	第4号	1988年3月
経済自由化と国際環境：トルコとエジプト【87年度国際 ワークショップ 第Ⅲ部 地域的安定性の諸前提：イ ラン・イラクとトルコ】	伊能 武次	第4号	1988年3月
カイロ大学政治研究センター【研究機関】	鈴木 弘明	第5号	1988年9月
議会報告『エジプトの工業化』【資料解説】	伊能 武次	第5号	1988年9月
アラハーム政治・戦略研究センター【研究機関】	伊能 武次	第6号	1989年3月
エジプトの民主化と地方自治	伊能 武次	第6号	1989年3月
私の訪ねたアラブの書店：バハレーン、アブダビ、カイ ロ、ハルツーム書店案内【資料情報】	泉沢久美子	第6号	1989年3月
エジプトの经济社会変動と社会科学の再興：政治学を中 心として	アマナ・カンディール	第7号	1989年9月
もつれた糸くり車：エジプト社会の形【巻頭言】	小高 正直	第8号	1990年3月
エジプト新投資法	鈴木 弘明	第8号	1990年3月
ナギーブ・マハフーズ私論	高野 晶弘	第8号	1990年3月
政治情報データ・ベース【研究資料情報】	伊能 武次	第8号	1990年3月
ヘジャープの女【各国事情】	泉沢久美子	第8号	1990年3月
エジプトにおける社会調査と社会問題	ナヘード・サーレフ	第9号	1990年9月
エジプトの地方ジャーナリズム	泉沢久美子	第9号	1990年9月
アラブ政治学会の設立について【研究情報】	伊能 武次	第11号	1991年9月
エジプトの構造調整：「受身」から「挑戦」へ【中東レ ビュー】	清水 学	第11号	1991年9月
エジプトにおける工業化の現状と問題点：輸入代替過程 の進展	鈴木 弘明	第13号	1992年9月
エジプトのベドウィン社会：詩と歌謡の今日	赤堀 雅幸	第13号	1992年9月
エジプトの経済改革：直面する課題と展望【特集：中東 の構造変化と発展の展望】	清水 学	第14号	1993年3月
海外研究会（カイロ）：ファハミー氏の横顔【マルハバ】	山田 俊一	第14号	1993年3月
エジプトの綿花経済と問題点【中東レビュー】	鈴木 弘明	第15号	1993年9月
エジプトのテロリズム問題【現地報告】	山田 俊一	第15号	1993年9月
1995年のエジプト：政治的緊張の増大と社会不安の継続	伊能 武次	第20号	1996年3月
エジプトの民営化における政治経済論争	山田 俊一	第21号	1996年9月

	資本主義の復活と社会の転換：1970年代から90年代におけるエジプトの構造変化と発展－法則と政策に関する考察－	エニード・ヒル	第21号	1996年9月
	エジプト輸出産業の実態調査について【現地報告】	武藤 幸治	第21号	1996年9月
	市場経済移行下のエジプト製造業	武藤 幸治	第25号	1998年9月
	エジプトの人口変動と都市化－1966～96年における諸都市の発展－	店田 廣文	第27号	1999年9月
	現代エジプトにおけるコプト－中東最大のキリスト教コミュニティの状況－	谷垣 博保	第28号	2000年3月
	H氏との会話を思い出して【巻頭言】	大塚 和夫	第29号	2000年7月
	アラブ3カ国の資料事情－レバノン，クウェート，エジプトにおける資料収集－【資料情報】	泉沢久美子	第29号	2000年7月
オマーン	オマーンにおけるエスニシティの多様性とその統合：経済開発の視角から【特集：湾岸地域の社会と経済】	福田 安志	第18号	1995年3月
カザフスタン	カザフスタンのロシア人をめぐる最近の動き－「分離主義活動」と「ロシアとの統合要求」が示唆するもの－	岡 奈津子	第29号	2000年7月
カタール	連邦と独立：湾岸の9首長国の選択が現在の外交政策に及ぼした影響【中東レビュー】	大野 元裕	第17号	1994年9月
	カタールの国籍法と同国の独立【特集：湾岸地域の社会と経済】	四戸 潤弥	第18号	1995年3月
クウェート	湾岸危機について	清水 学	第9号	1990年9月
	イギリスから見たイラクのクウェイト併合問題	浜渦 哲雄	第9号	1990年9月
	湾岸戦争のもつ意味【巻頭言】	木村 喜博	第10号	1991年3月
	湾岸戦争が提起したもの【特集：湾岸戦争】	清水 学	第10号	1991年3月
	湾岸戦争とアラブ知識人の反応【特集：湾岸戦争】	酒井 啓子	第10号	1991年3月
	イギリスで体験した湾岸戦争：マスコミ・議会・世論【特集：湾岸戦争】	浜渦 哲雄	第10号	1991年3月
	湾岸戦争までのクウェートにおける家族，女性の生活【中東レビュー】	武田 朝子	第11号	1991年9月
	日本企業の中立地帯海域石油利権交渉：イギリス政府とシェルの対応	浜渦 哲雄	第16号	1994年3月
	湾岸深奥小史：ウトゥーブ，カアブ，ムンタフィクの盛衰【中東レビュー】	酒井 啓子	第16号	1994年3月
	クウェートのシーア派【特集：湾岸地域の社会と経済】	保坂 修司	第18号	1995年3月
	アラブ3カ国の資料事情－レバノン，クウェート，エジプトにおける資料収集－【資料情報】	泉沢久美子	第29号	2000年7月
サウジアラビア	日本企業の中立地帯海域石油利権交渉：イギリス政府とシェルの対応	浜渦 哲雄	第16号	1994年3月
	サウジアラビアの宗教的エスニック集団シーア派問題【特集：湾岸地域の社会と経済】	富塚 俊夫	第18号	1995年3月

	サウジアラビアに対する外国企業進出の実態【特集：湾岸地域の社会と経済】	武藤 幸治	第18号	1995年3月
	平成8年度国際ワークショップの報告	山田 俊一	第22号	1997年3月
	帰国させられる大量の外国人労働者：サウジアラビアにおける不法滞在者【現地報告】	福田 安志	第24号	1998年3月
	反米のシンボルとしての「テロリスト」の行方ーウサーマ・ビン・ラーディンは「ジハードの英雄」か「テロリスト」かー【トピック】	中村 覚	第26号	1999年3月
	サウジアラビアにおける税制と国家財政ー企業への所得税課税とザカートの賦課ー	福田 安志	第30号	2001年1月
シリア	イスラエル／シリア関係と中東和平プロセス【特集：中東和平プロセス】	モシェ・マオズ	第12号	1992年3月
	私の訪ねたアラブの書店(2)：ダマスカス、アンマン、サナア【資料情報】	泉沢久美子	第17号	1994年9月
	アラブ女性の社会的構図：シリア女性の経済的地位を中心に	木村 喜博	第23号	1997年9月
	もう一つの和平交渉?!：1990年代のアル＝アサド政権とシリア・ムスリム同胞団	青山 弘之	第25号	1998年9月
	トルコとシリアー対立の構造ー(1)	長場 紘	第26号	1999年3月
	トルコとシリアー対立の構造ー(2)	長場 紘	第27号	1999年9月
	中東和平プロセスの現在ー二国間交渉の課題と多国間協議の評価ー	池田 明史	第27号	1999年9月
	政治の多元化か独裁の再生産か：1990年代半ば以降のシリアにおける支配の論理	青山 弘之	第28号	2000年3月
	果たし得ぬ“遺言”：ハーフィズ・アル＝アサド大統領が「次世代」に課した難題【現地報告】	青山 弘之	第29号	2000年7月
スーダン	スーダン新政権の課題：「国民統合」の条件	清水 学	第1号	1986年9月
	私の訪ねたアラブの書店：バハレーン、アブダビ、カイロ、ハルツーム書店案内【資料情報】	泉沢久美子	第6号	1989年3月
中央アジア	外交プレリュード：CIS 中央アジア諸国と中東世界	末松 義規	第13号	1992年9月
	CIS 中央アジア諸国の経済とその課題：「CIS（独立国家共同体）中央アジア調査団」に参加して	清水 学	第13号	1992年9月
	ロシア外交と中央アジア・中東：第5回中・東欧研究世界会議に参加して	清水 学	第19号	1995年9月
チュニジア	避妊にみる女性の行動選択：チュニジア南部タタウィーン県の事例	岩崎えり奈	第23号	1997年9月
ドイツ	ドイツにおけるトルコ人問題：労働者と難民【特集：現代トルコの諸側面】	小林真紀子	第19号	1995年9月
トルコ	トルコ：ケレシュ教授【マルハバ】	加納 弘勝	第1号	1986年9月
	民政移管後のトルコ：軍政以前との連続性と非連続性	間 寧	第2号	1987年3月
	トルコの EC 加盟問題【現地報告】	長場 紘	第3号	1987年9月

トルコ経済情報の入手方法：主要機関とその刊行物【研究情報】	長場 紘	第3号	1987年9月
国際ワークショップ特集にあたって	宮治 一雄	第4号	1988年3月
経済自由化政策の社会政治的帰結とその評価【87年度国際ワークショップ 第II部 オザル政権下のトルコ】	R・ケレシュ	第4号	1988年3月
オザル政権下の経済発展とその評価【87年度国際ワークショップ 第II部 オザル政権下のトルコ】	長場 紘	第4号	1988年3月
革命・クーデタ・戦争と地域関係：イラン・トルコ・イラク【87年度国際ワークショップ 第III部 地域的安定性の諸前提：イラン・イラクとトルコ】	加納 弘勝	第4号	1988年3月
経済自由化と国際環境：トルコとエジプト【87年度国際ワークショップ 第III部 地域的安定性の諸前提：イラン・イラクとトルコ】	清水 学	第4号	1988年3月
金角湾クリーン計画【巻頭言】	堀 侑	第6号	1989年3月
憲政擁護運動下トルコの政権地盤分析	石川 克彦	第6号	1989年3月
エセンベル女史とセリム先生【マルハバ】	長場 紘	第6号	1989年3月
トルコでの民営化：実施過程での行き詰まり	間 寧	第8号	1990年3月
現代トルコにおけるイスラム復興の諸相	長場 紘	第9号	1990年9月
トルコの米作調査旅行の記録	「米の道-西アジア(非モンスーン)米作社会の研究」班	第11号	1991年9月
トルコの工業化と外国貿易	関根 英一	第11号	1991年9月
トルコ国会の毎日【各国事情】	間 寧	第11号	1991年9月
トルコ紀行：現地調査の日記から	村上 薫	第12号	1992年3月
イスタンブル今昔【巻頭言】	長場 紘	第13号	1992年9月
トルコ・ナショナリズムをめぐる問題の解決のために：基本的文献の紹介【中東レビュー・研究動向】	村上 薫	第13号	1992年9月
トルコ：転換期の政治、社会構造【特集：中東の構造変化と発展の展望】	長場 紘	第14号	1993年3月
法案修正の政治：トルコ国会の例【中東レビュー】	間 寧	第14号	1993年3月
トルコ政界の世代交替	間 寧	第15号	1993年9月
変貌する世界秩序におけるトルコの位置【特集：現代トルコの諸相】	セリム・デリンギル	第16号	1994年3月
トルコにおけるイスラームの最近の動向【特集：現代トルコの諸相】	セリム・デリンギル	第16号	1994年3月
1980、90年代のトルコ経済：諸問題とその解決策【特集：現代トルコの諸相】	イゼッティン・オンデル	第16号	1994年3月
トルコの向都市人口移動：イスタンブルを事例に【中東レビュー】	村上 薫	第16号	1994年3月
回想のイスタンブル：海峽都市の変貌【中東レビュー】	長場 紘	第17号	1994年9月

トルコにおける都市化:関係文献・資料の紹介【資料情報】	村上 薫	第17号	1994年9月
現代社会と倫理の問題:アレヴ・アラツルの小説『そこに誰かいるの?』より【特集:現代トルコの諸側面】	山中 啓介	第19号	1995年9月
民族問題の史的系譜【特集:現代トルコの諸側面】	長場 紘	第19号	1995年9月
トルコにおける連立政権:1991～95年【特集:現代トルコの諸側面】	間 寧	第19号	1995年9月
ドイツにおけるトルコ人問題:労働者と難民【特集:現代トルコの諸側面】	小林真紀子	第19号	1995年9月
トルコの混迷する連立政治	間 寧	第21号	1996年9月
トルコ「繁栄党」の思想	藤原 和彦	第21号	1996年9月
福祉党の躍進とトルコの将来【巻頭言】	永田 雄三	第22号	1997年3月
日本とトルコ:国交樹立への歩み	長場 紘	第22号	1997年3月
変転するトルコの社会・政治情勢	長場 紘	第24号	1998年3月
トルコのアパレル産業:その発展と現状	村上 薫	第24号	1998年3月
トルコ海峡制度とその今日的意義	松谷 浩尚	第24号	1998年3月
21世紀の足音が聞こえる【巻頭言】	長場 紘	第26号	1999年3月
トルコとシリアー対立の構造ー(1)	長場 紘	第26号	1999年3月
トルコにおける女性労働:研究動向の紹介	村上 薫	第26号	1999年3月
連立が続くトルコ政権【現地報告】	間 寧	第26号	1999年3月
トルコとシリアー対立の構造ー(2)	長場 紘	第27号	1999年9月
分化する「クルド・アレヴィー」アイデンティティ	粕谷 元	第28号	2000年3月
新たなるビジョンの探求ートルコの「イスラーム政党」の変遷ー	澤江 史子	第29号	2000年7月
トルコにおける家族問題の政治化現象	村上 薫	第29号	2000年7月
都市と感情の継続性ーイスタンブル50年の変遷,フェルーズンの新作小説よりー【現代トルコ文学紹介】	山中 啓介	第29号	2000年7月
トルコにおける投票参加:1961～99年	間 寧	第30号	2001年1月
西サハラ 西サハラ問題の現状と見通し	新郷 啓子	第11号	1991年9月
日本と中東 日本とトルコ:国交樹立への歩み	長場 紘	第22号	1997年3月
中東の近代と日本の近代ー比較史の必要性についてー【巻頭言】	鈴木 董	第28号	2000年3月
バハレーン 私の訪ねたアラブの書店:バハレーン, アブダビ, カイロ, ハルツーム書店案内【資料情報】	泉沢久美子	第6号	1989年3月
連邦と独立:湾岸の9首長国の選択が現在の外交政策に及ぼした影響【中東レビュー】	大野 元裕	第17号	1994年9月
パレスチナ パレスチナの歴史地理:中東問題理解のために	木村 喜博	第8号	1990年3月
イスラエル/パレスチナ人交渉と中東和平プロセス【特集:中東和平プロセス】	エディ・カウフマン	第12号	1992年3月
現代パレスチナにおけるイスラーム運動【特集:中東和平をめぐる諸勢力】	小杉 泰	第17号	1994年9月

	検証：中東和平プロセス「パレスチナ」の相剋は乗り越えられるのかー	森戸 幸次	第22号	1997年 3月
	中東和平プロセスの現在ー二国間交渉の課題と多国間協議の評価ー	池田 明史	第27号	1999年 9月
	暫定自治下におけるパレスチナ女性運動の新展開ー WATC を事例にー【現地報告】	高橋 理枝	第29号	2000年 7月
フランス	アラブ・イスラム世界研究所【研究機関】	宮治 一雄	第10号	1991年 3月
マグレブ	EU とマグレブ 3 国	宮治 一雄	第22号	1997年 3月
モーリタニア	モーリタニア：砂漠の中の構造調整政策【現地報告】	宮治 一雄	第10号	1991年 3月
	青い種族の国：モーリタニア紀行	山崎 孝子	第20号	1996年 3月
モロッコ	アブデルアジーズ王・イスラム研究財団【研究機関】	宮治 一雄	第7号	1989年 9月
ヨルダン	ヨルダン国家の安定とパレスチナ人	臼杵 陽	第3号	1987年 9月
	王立科学協会（ヨルダン）【研究機関】	清水 学	第6号	1989年 3月
	ヨルダン社会の現状：「民主化」と湾岸帰国者問題	北澤 義之	第13号	1992年 9月
	アカバ＝ヌエバの定期船【現地報告】	木村 喜博	第13号	1992年 9月
	私の訪ねたアラブの書店(2):ダマスカス, アンマン, サナア【資料情報】	泉沢久美子	第17号	1994年 9月
	ヨルダンの政治エリート層：ワスヒィ・アッタル再評価に寄せて	北澤 義之	第23号	1997年 9月
レバノン	戦火のなかのレバノンの婦人たち	ソーニャ・デブス	第9号	1990年 9月
	レバノン内戦の社会政治的分析:1975～90年【中東レビュー】	マスワード・ダーヘル	第11号	1991年 9月
	レバノン：工業化, 内戦, 社会変動ー1975年以降ー【中東レビュー】	マスワード・ダーヘル	第12号	1992年 3月
	レバノン派兵問題と日本ー外務省公開文書『中近東紛争雑件をもとにして』【資料情報】	伊能 武次	第25号	1998年 9月
	中東和平プロセスの現在ー二国間交渉の課題と多国間協議の評価ー	池田 明史	第27号	1999年 9月
	アラブ 3 カ国の資料事情ーレバノン, クウェート, エジプトにおける資料収集ー【資料情報】	泉沢久美子	第29号	2000年 7月
ロシア	ロシア外交と中央アジア・中東：第5回中・東欧研究世界会議に参加して	清水 学	第19号	1995年 9月
	ロシアにおけるパレスチナ・イスラエル研究【中東研究事情】	A・V・フェドルチェンコ	第21号	1996年 9月

前号の記事のなかに以下のような誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

1. 99ページ右欄6～7行目

(誤) ……234カ所あり, そのうち10カ村は人口2万を超える。 (正) ……149カ所ある。

2. 99ページ右欄25行目

(誤) ……1449から1727へ (正) ……1454から1727へ